

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-117)、MOX燃料加工施設(1-108))」

2. 日時：令和4年3月23日(水) 10時00分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、中川上席安全審査官、田尻主任安全審査官、大岡安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 高松 理事 燃料製造事業部副事業部長 他9名

東京電力株式会社 原子燃料サイクル部

サイクル技術グループチームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループ 担当

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部(原子力技術) 担当

電源開発株式会社 原子燃料室 上席課長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和2年12月24日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和2年12月24日)

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html

・ 令和 4 年 3 月 1 6 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音を開始しました。
0:00:03	規制庁清水です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:08	本日のヒアリングは令和2年12月24日に申請があった設工認申請について、資料を基にヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:20	まず規制庁側の出席者を紹介しますと、伊勢規制庁本庁からナカガワタジリタカナシシミズ
0:00:28	ほかWebから藤コサク大賀。
0:00:32	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と議題の構成の説明をした上で、当資料の説明を開始してください。
0:00:43	こちら日本原燃、鈴木と申します。日本原燃から参加者の方を紹介します。まずMOX事業部の方から、タカマツ、
0:00:54	タニグチイシハラアボシタニ。
0:00:59	再処理の方から、
0:01:01	タカハシシミズフジノ。
0:01:05	フクイスズキです。参加電力の方につきましては、
0:01:10	東京電力、関西電力、東北電力、中部電力、電源開発止めております。
0:01:18	本日のヒアリング予定は、
0:01:21	す。
0:01:22	遮へい01車両設計の基本設計に関する燃料加工建屋に係る認可からの変更点について、
0:01:30	遮へい0にMOX燃料加工施設の遮へい計算における線量率計3ヶ所の選定について、
0:01:38	ロス3社設計における計算条件及び計算モデルの設定についてでございます。
0:01:45	よろしければ、
0:01:47	この3件について説明を開始していきたいと思えます。
0:01:51	よろしいでしょうか。
0:01:53	はい。
0:01:53	よろしく申し上げます。
0:02:01	A、
0:02:01	あと日本原燃の安保でございます。
0:02:04	それでは令和4年3月16日に提出いたしました、遮へい01、R4
0:02:10	遮へい設計の基本方針に関する燃料加工建屋に関わる
0:02:14	既認可からの変更点についてご説明いたします。

0:02:19	本資料につきましては前回のヒアリングにおけるコメントを反映したものにになります。
0:02:25	11 ページ以降ですね。
0:02:31	はい。まず前回のコメントとして既認可からの変更点として、情報が足りていないというところがありましたので、
0:02:39	11 ページ以降に添付の 1 ということで、別の変更の前後表。
0:02:45	それから 18 ページ以降、
0:02:51	こちらに添付の 2 ということで、
0:02:54	レイアウト変更対象室、それと遮へい設計の基準となる線量率の変更前後表の方を新たにつけてございます。
0:03:03	あと、最後から 2 ページ目 21 ページになりますけれども、
0:03:10	こちらに変更前後の遮へい扉等の主要寸法の方を示しております。
0:03:17	前回までの資料ではこちらに黄砂の方が近隣の市でございましたけれども、こちらの表で示したいのは厚さ、必要厚さの前後、
0:03:28	を示したいというところで高坂栗城さんの方は削除の方いたしまして、こちら
0:03:38	主要寸法のところに注記の 2 と振っておりますけれども、遮へい設計に必要な最小厚さの方も示すという形に記載の方を目指して、見直しでございませう。
0:03:49	こちらの資料については、の説明は以上となります。
0:03:59	清水です。あと古谷規制庁側から確認事項ございましたらお願いします。
0:04:05	久井。規制庁岡です。
0:04:09	ちょっと今説明あって、あったところでちょっとまず、
0:04:13	少し大きいかなと思った点で最後の方に 11 ページ目の先ほどの黄砂の件。
0:04:19	なんです、
0:04:20	こちらの外した理由っていうのが、最小厚さだけ茶系ではカウントしてればいいと。
0:04:26	思って、前回までちょっといろいろ公差のことを少し伺っていましたが、
0:04:32	まずはここでは書かなくなったという整理でよろしいですか。
0:04:39	日本原燃の安保でございます。その通りでございます。
0:04:42	はい、規制庁河津です。そういう大体こういうところって仕様表に書くような内容を書くと思っていて明日のアユの方でも使用兵頭の議題があるかと思うんですが、一応表には、

0:04:55	ちゃんと黄砂を含めた最終、
0:05:00	の主要寸法と、あとはその公称値が示されて、従来の仕様表のような書き方をして、生活工作でもしっかりわかるように書かれ、
0:05:11	いう。
0:05:12	いまいち。
0:05:14	よろしいでしょうか。
0:05:19	はい。日本原燃志田でございます。おっしゃっていただいている通りアスターヒアリング予定になってます状況の方は、その指標としての目的を考えて必要な情報を入れたということでございます。以上です。
0:05:31	はい、成長からです。その黄砂の説明っていうのも、実用炉なんかだと、添付の方で、
0:05:38	公社の説明なんか簡単に書いてあったりもして、そういうところでちゃんと公社の説明っていうのも、
0:05:44	行われるということでよろしいでしょうか。
0:05:50	しゃべる。
0:05:51	日本原燃の新谷です。平面図の方に公算についての説明の表もつける予定で、
0:05:59	となっております。
0:06:01	はい。それ10日です。その上で遮へいの補足説明ではちょっと仕様表と記載ぶりが違うと。
0:06:09	いうところで、確保すべき値としては書かれているという、
0:06:15	意識でして、ちょっと後者の消し方はちょっとざIIというかですね、注釈の右に、最小厚さを示すと。
0:06:23	だけ主要寸法、
0:06:26	の注釈として支社、最小厚さといったときに、
0:06:29	何を示しているのかっていう説明がまず、
0:06:33	ないのでその辺の説明をまずしっかりしていただければ、
0:06:37	思います。
0:06:39	いかがでしょうか。
0:06:43	日本原燃新谷です。はい。設計上必要な厚さであるという、
0:06:48	内容について記載するというでよろしいでしょうか。
0:06:52	規制庁岡です。そういうことなんですけど、かつ、後者も考えた上で、
0:07:01	遮へいを担保する上で、最初、
0:07:04	必要である最初、厚さを示すとか、何の最小厚さ、何の観点で最初厚くなのかっていう、

0:07:11	ことが、校舎等が、の議論が全くなくなってしまったので抜けてしまったので、
0:07:17	ただ最小厚さと言われても何の最初あったかわからないという状況なので、
0:07:21	そういう紙をさとかを、
0:07:24	考えた。
0:07:25	考えて、最初、厚さであるということをちゃんと示してもらいたいという意図でしたが、
0:07:32	いかがでしょうか。
0:07:35	はい日本原燃の安保でございます。
0:07:39	濃さ等を考慮しても、
0:07:42	遮へいとして担保が必要な最小厚さと、
0:07:46	いうように少し多様な書き方をしようと思いますがそれでいかがでしょうか。すいません。補足です。
0:07:53	ちょっと話が見えなくて申し訳ないんですけど、仕様表の本文って何を書くつもりかと。
0:08:00	たことなんですけど、最小厚さっていうのが基本的な本文事項。
0:08:06	てことですかね。
0:08:13	日本原燃新谷です。仕様表については最小厚さと書くつもりであります。
0:08:20	規制庁コサクですとそうすると、
0:08:23	最小厚さの設定根拠といったこと。
0:08:29	が、説明がまずあるべきで、
0:08:32	それはさえ、
0:08:35	の設備ということ言えば、遮へい機能を持たせる上でこういう材料をこういう厚さでと、
0:08:44	これ以上のものにすれば遮へいができますというのを、遮へい計算書で説明すると。
0:08:50	ということだと思うので公差云々っていうのはあまり関係がない。
0:08:54	気がしてて、逆に最初はあったから、
0:08:57	黄砂を踏まえて交渉値を決めると。
0:09:00	いう設計の流れのような気がするんですけど、原燃はどう考えてるんでしょう。
0:09:06	日本原燃の新谷です。遮へい要求を先に決めた場合は、
0:09:11	ご指摘の通り、
0:09:14	です。一部壁等については遮へい、

0:09:19	の以前にまず厚さがあったりするのでその場合はちょっとその順序が逆のものもある。
0:09:25	というふうに認識しております。
0:09:29	規制庁コサクです。それもちょっと順序が逆なのか。
0:09:34	二つの観点から設計があって統合したときに、遮へい以外の方が数字として高くなり、そちらの数字で
0:09:44	実際にはせ、
0:09:46	施行すると。
0:09:47	ということなのかっていうところの考えはいかがなものなのでしょうか。
0:09:51	日本原燃志田でございます。
0:09:54	おっしゃっていただいているアスターヒアリングでの仕様表の時の方にも整理をしましたが要求事項を全部並べた上で、それぞれの要求事項に対して必要な
0:10:05	壁が厚さなりが決まった上で、後施工を考えたの交差も含めた上でその厚さをちゃんと満足できるような設計を、具体の設計にしていくというのが基本的な流れですそのときに、
0:10:16	遮へいが後からくるとかではなくて全部まず並べた上でそれぞれの必要厚さが決まっていくということの整理だと思ってます。以上です。
0:10:25	田尻です。すいません。
0:10:27	どうぞ。
0:10:29	規制庁小沢です。その時には、遮へいとしての最小厚さも書かれるって いうことでいいんですかね。
0:10:38	弓削リーダでございます。指標的には特にそこまで書きません。ただ我々としては当然状況事項を全部並べて必要な厚さを出した上で、その 中での、厚い上、最も大きいものを書く場合は、
0:10:52	最も大きいものの数字を書くということだと理解をしています。以上です。
0:10:58	コサクです。
0:11:00	考えていることはわかりました。その時に、遮へいとして必要な差は幾らかかというのを、添付なりで、
0:11:10	説明がされるものなのか或いはもう物としてそう設計したので、
0:11:15	遮へい計算も含めてそのものから公差を引いた分で計算しますって言うのかって言うのはどういう形になりますか。
0:11:24	はい、弓削西田でございます。今、我々、私考えてるのは後者だと思ってました。以上です。
0:11:32	コサクですわかりました。そうすると、先ほど大川が言ったような

0:11:38	黄砂を踏まえて云々というこ等は、或いはその別の設計から来る、最初熱田を用いるなのかといったことの説明も必要になってくるのかなと思うので、
0:11:51	やはりその数字がどういう意味合いなのかということを知るようにしていただければということかなと思います。
0:12:00	田尻さん。
0:12:02	はいどうぞ。すみません、田尻です規制庁田尻です。明日の資料、朝比奈で一応資料を見ている段階で遮へいのところは中央通行のところでは設計確認値としての遮へい形状を考慮する厚さと公称値を記載するという形になっているので、
0:12:17	今のところのところで誤差とかの話どこまでっていう話あると思うんですけど両方書かれるっていう話があったのかなと思ってたんですけどそのあたりも明日細かく説明されると思っておけばいいですか。
0:12:28	はい。日本原燃石原でございますはい。その通りでございますが確か教えていただけると壁の場合は、航空機とか他の要求もあってそれぞれで最大値を書きますが遮へいの
0:12:41	扉とかハッチの話は、個別に遮へい設備として要求を書きますのでそこに構想も含めて必要朝の関係を書く記載をするという整理をしております。以上です。
0:12:54	規制庁田尻です。明日具体的に表とかをつけながら具体的な数字書きながら、レーダーしながら説明をされるんだと思うんでちょっと明日また確認したいと思いありがとうございます。以上です。
0:13:08	規制庁岡です。じゃ、他社、仕様表等でどういうふうにかき合わせたながら、こちらにもフィードバックするところあと添付書類の方でも、
0:13:18	フィードバックするところとまた、確認を続けていただき、
0:13:23	精査いただきたいと思い
0:13:25	だとか、この資料に関してですね。
0:13:29	前回のびあでコメントを反映した
0:13:32	挙動をちょっと設定
0:13:33	レイアウト図が、
0:13:35	付けられてあと変更の質が付けられて大分わかりやすくなったんですが、ちょっと
0:13:42	3.3の額と配管等の配置の変更っていうところも、
0:13:48	続けてはいるんですがこれが、
0:13:53	今回付けられたレイアウト変更図でわかるようになったっていう説明が文章の方には書いて、

0:14:04	え。
0:14:07	これ、まず、どういうところで説明したということに
0:14:14	日本原燃新谷です。どうぞ。
0:14:18	ダクト配管についてはちょっとこの平面図の方で表しているということではないです。申しわけございませんで、この図で示していると言っているのは開口部の設計が変わったというところで遮へい扉ですとか、
0:14:33	遮へい部たの変更箇所を、この平面図の方に、
0:14:37	お示ししているというところで記載しておりました。
0:14:42	鶴岡です。配管とカーの方には、の配置の変更という部分にはかかってない。
0:14:49	もんだったんですね。そうしましたんで、そうであればやはり、遮へい上、
0:14:56	ダクトとか配管っていうその開口部は重要なものなので、度何がどうなったっていう部分は特に変更点を、またわかるように記載してもらえればと思います。
0:15:08	と関連してですね、全課飯野基本設計方針等でやはり確認してきた
0:15:15	そういうダクトとか配管は、線源を直接見通せないように設計されているっていうようなところがあって、そういうのをどこで確認するのかっていうようなことを前回のヒアリングの方で、
0:15:27	少しうかがわしていただきましたが、その辺で何かお考えありますでしょうか。
0:15:51	すみません、少々お待ちください。
0:16:19	何かでしょ。
0:16:24	佐口さん、何か部屋を間違えてるんじゃないかっていう、
0:16:29	辰巳さんの隣の与儀西原でございます。ちょっと答えに詰まってるようなので、採用の方の設計要求としてそういった直接線が見通せないようにするというのを条件を、
0:16:43	遮へいの設計として当てた場合に対象になる設備を出す時にはですね、しゃへい側で方針通りのものが作られているということを説明することが必要だと思っておりますので、
0:16:54	それをちょっと今回の分割申請の中でどうやって展開するかってのは今一度整理をした上でご説明できるようにしたいと思います。以上です。
0:17:02	はい。規制庁岡です。その辺ちょっと、どう整理されたのかというところが、
0:17:07	になってますので、次のヒアリングあたりでも、整理結果を、
0:17:12	示していただける

0:17:14	ちなみに、配管やダクトを変更したっていうことを、本資料で説明を追加するという部分は、よろしいでしょうか。
0:17:42	日本原燃安保でございます。すいませんちょっと検討いたします。
0:17:49	はい。規制庁河津です。よろしくお願ひします。そこで、もし設計が固まっているのであれば、こういうふうに変えましたとかこういうのをつけましたとか言っていただけで、それが線が見えない。
0:18:01	愛知あたりになっているということもって、
0:18:05	確認できれば別個の後の、次回で、新種、どう示していくかという部分も、
0:18:12	スムーズに見えてくるのかなと思ひましたので、ちょっとその辺も含めて、
0:18:19	あとちょっと追加いただいた例レイアウトとかの図で軽微な話なんです、マスキングされてる場所になってしまっただけその情報には触れないように、
0:18:29	レッスンです。
0:18:30	ちょっと見づらいつかわかりづらいつころがありまして、
0:18:36	まず1歩ハッチングが今回たくさん入って、
0:18:40	グレーハッチングとか写真ハッチングとか、
0:18:43	結構あるんですがこれらって何を意味したものなんでしょうか。
0:18:51	日本原燃の新谷です。グレーのハッチングについては床面で、
0:18:56	遮へい要求のある箇所で、
0:19:00	線については、壁で裁量権ある場所をハッチング入れております。
0:19:07	水津オオオカ下足ありました。そういう判例みたいなものをご準備いただきたいなと思つたんですが、いかがですか。
0:19:17	日本原燃新谷です。はい、承知しました。
0:19:24	規制庁勝ですよろしくお願ひします。11 ページ目にちょっと具体的な開口部の変更コンクリーに対する変更とかが、
0:19:34	もし書いてあるんですが、
0:19:37	よくよく見てくとですね。
0:19:41	後の方で説明されている遮へい扉とかしゃべるたと。
0:19:45	何か番号が違っているところが雲雲になっていたり、
0:19:51	何か、
0:19:52	ちょっと指しているところが正しいのかっていう部分があつて、
0:19:56	でですね、また確認いただきたいのと、
0:19:59	あと扉の材質変更だけやったものっていうのがこの図では、

0:20:05	見えてこないの、その扉の材質変更やった部分っていうのと、あと扉やふたを閉止した部分っていうのを少し分けて、
0:20:14	枠線青枠線等で、わかるようにしていただきたいんですがいかがでしょうか。
0:20:23	峯新谷です。
0:20:27	ちょっと一部扉と蓋は隣接してるところ等はちょっとごちゃごちゃしてしまう可能性はありますがちょっと分けて表示する方向で対応します。
0:20:36	はい。規制庁岡ですよろしくお願ひします。あと少し軽微なんですけど15ページとか16ページ。
0:20:43	この辺りだと、図、図の大きさとかが全然違ったりして、結構みずら。
0:20:49	これは本当に同じ、
0:20:52	サイズ感なのかっていうところとかがちょっとわかりづらかったの、少し整理をした図で表現してもらいたいという
0:21:03	よろしいですか。
0:21:08	キャビネシンタニです。サイズについてはちょっと合うように調整いたします。
0:21:24	現年すいません、回答をもう1回してもらっていいですかちょっと一瞬こっちを岡野多分電波が育てたので回答の部分からお願いします。
0:21:33	屋根シンタニです。
0:21:36	図面のサイズについては合うように調整いたします。
0:21:40	規制庁からすみませんでした。よろしくお願ひします。
0:21:43	その15ページなんですけど、ちょっとここもマスキング箇所で気をつけたいんですがあの日、
0:21:49	一つの部屋に複数の番号がある箇所なんかがあって、それがそのレイアウト変更後では、
0:21:56	一つの部屋にな表現されていたり、
0:21:59	ちょっと表と図が合わないところとか、そもそも何で一つの部屋にたくさん部屋番号が振ってあるのかっていうところがわからなかったんですけど、
0:22:08	これって具体的にはどんな、
0:22:10	ことが、想定された書き方なんでしょうか。
0:22:16	峰新開です。一つの区画に二つ部屋番号がついているものについては床下に配管を合わせていた箇所です、
0:22:27	もともと
0:22:28	はてやの。

0:22:30	東側にあったPC縦を移動したことに伴って不要になったために、床下の配管室がなくなったので部屋番号が一つになっております。
0:22:41	はい、規制庁全部。
0:22:44	その辺の、
0:22:46	同じところに密集していますが全部同じような感じで、配管室側が全部なくなりましたっていうような感じなんですね。
0:22:56	宮部シンタニでその認識で問題ないです。
0:22:59	はい。規制庁岡ですありがとうございます。
0:23:02	ね。
0:23:03	あとですね関係する表の方18ページ目のところで、
0:23:13	同じところなんですけどその配管室が多分なくなったという今の説明と整合していることなんだと思いますがこれ、
0:23:22	遠方の方もバーになっているんですが、この部屋って結局どうなったんでしょうか。
0:23:34	宮銀の新谷です。すいませんちょっと、実際どうなったかまではちょっと把握しておりませんので必要であれば確認いたします。引き継ぎ超過ですなんかあの部屋番号がないとか、基準がなくなったというのはまだちょっとわかるところがあるんですが、部屋、
0:23:47	名称すらなくなったっていうのは、他のバーのところとかも全部、
0:23:51	そうなんですから、
0:23:53	何かその部屋自体がどうなったのかなっていうところがこのレイアウト図から見ると、読み解けなかったので、
0:24:01	またちょっとその、その辺がわかるように、整理されてればなと思いましたので、
0:24:06	お尋ねしました。
0:24:08	あと、18ページ目、同じ表の下の注釈のところ、
0:24:13	50、また書きで50、
0:24:16	マイクロのことだけ書いてあるんですがこれは何で50マイクロのことだけここに注釈で、
0:24:21	分かれた。
0:24:24	日本原燃新谷です。
0:24:26	50マイクロの基準については、複数の区分に設定しております
0:24:32	核燃料物質を取り扱う部屋等についても50マイクロという基準になっておりますので、今回核燃料物質を取り扱う部屋は対象としておりませんので、そういったものが入ってないのは

0:24:44	ちょっと迷惑かなというところもありますが一応念のため注記させていただきます。
0:24:50	はい。布施超過です。であれば核燃料物を取り扱うエラー。
0:24:56	ではないってということがわかれば、
0:24:59	いいのであれば、もうちょっとその、
0:25:01	その意図がわかるように、書いてもらえればなと思いましたが、いかがでした。
0:25:09	日本原燃新谷ですちょっと記載については修正いたします。
0:25:13	はい、規制庁オオオカです。
0:25:15	あとすごく軽微って軽微なんですけどずっと初回からですね最後の 22 ページ目の比率が、
0:25:24	これ遮へい扉 H II の線量率の計算モデルを書いていたんですけど、
0:25:30	これ遮へい扉ですよ。ちょっとその辺が何か、
0:25:36	遮へい物と遮へい扉。
0:25:39	の、
0:25:40	書き分けとかがちょっと、21 ページ目 22 ページ目の辺りが少し、
0:25:47	ちゃんと区別で来てるのかなってところがあったりしてですね少しまた精査して整理してもらえればと思いますが、いかがですか。
0:25:58	日本原燃新谷です。すいません、22 ページの遮へい扉については誤記です。他も含めてちょっと精査させていただきます。
0:26:06	はい。規制庁大川ですよろしくお願ひします。それ 01 に関しては先ほど初めに話題があった仕様表がちょっと大きいところ地方庁舎。
0:26:15	黄砂の話が大きいところでそれは明日話すということで、他は少し軽微な話でしたが、
0:26:23	規制庁は他何かありますでしょうか。
0:26:28	すいませんコサクです。途中で話があったり、床の話なんですけど、
0:26:34	床だけですか天井はどうなりますかっていうことと、それも関の話に戻るんですけど、資料上でそういう辺りってどう書かれるんですかっていうのを教えて。
0:26:47	日本原燃新谷です。基本的に言うか平面図の方で床の方で表示しておりますのでゆ、各階の床に対して、仕様表の方でも
0:26:59	寸法を入れるという形で整理しております。
0:27:04	コサクですそれで言うと、線源のある部屋の床と上階の床。
0:27:11	が遮へい。
0:27:14	設備として登録されるってことですか。

0:27:17	人間の身体でその認識でもなりません。
0:27:20	わかりました。
0:27:28	規制庁課ですもしないようであれば次遮へい 02 の方お願いします。
0:27:37	はい。日本原燃の安保でございます。
0:27:40	それでは令和 4 年 3 月 16 日に提出いたしました遮へい 02、R4
0:27:47	MOX 燃料加工施設の遮へい計算における線量率計参加者の選定についてご説明いたします。
0:27:54	こちらの資料につきましても前回のヒアリングのコメントの反映というところで、全体的に図面がわかりにくいというような話がありましたので、そちらの修正の方をしております。
0:28:06	具体的には 24 ページ以降です。
0:28:13	ちょっとマスキングにはなるんですけども、この中で宣言室の部屋番号について、紫色にする。
0:28:21	ですとかあと不要な凡例を削除するというので、
0:28:25	見やすくなるように、図面の方の見直しを行っております。
0:28:30	あと、
0:28:32	1 ページ戻って 23 ページになりますけれども、
0:28:39	はい。こちらの表の備考に、遮へい計算代表点を示していて、特に説明がなかったんですが注記のほうで、
0:28:47	こちらが遮へい計算の代表点であるというところの注記を示してございます。
0:28:53	こちらにし、こちらの資料につきましては以上となります。
0:28:59	清長岡です。では遮へい 02 の方少し確認させていただきます。今おっしゃっていただいた通り、関連がついて線源質問明確化になったことで大分確認しやすく、
0:29:11	なりました。ちょっと、
0:29:13	前回もコメントしたつもりではあったんですが、例えば 24 ページ目から始まる図で、
0:29:20	T = と書いてあって、それが判例の中ではスラブ厚を示すというふう に、今回、はい。
0:29:27	書いてあって、
0:29:30	D コールの数字が、多分スラブ厚何メートルってということなんだとは思 うんですが、スラブ 8 っていうと、床たちと、天井厚が、
0:29:40	ありまして、先ほどの元の 01 の方の議論からいくと、これは床 I I に なるんでしょうか。
0:29:49	神戸シンタニですとか II です。

0:29:52	はい、規制庁岡です。で、湯川津田としてこの矢印で、
0:29:57	幅が取ってあるんですがこれはどう、何を意味しているんでしょう。
0:30:04	日本原燃の新谷です。こちらは遮へい要求のある範囲を示しております、
0:30:14	ものによりますけれども、線源室の上の階であれば、下の階の線源室の形状を十時で示しているということになっております。
0:30:27	光岡です。わかりました。この範囲、
0:30:32	この範囲の灯油数は、
0:30:36	遮へい要求があるから、この範囲だけはしっかり満足するように設計していますという位置付けですね。
0:30:47	日本原燃新谷です。先ほど 01 のほうの図でハッチングしてた場所になりますので、この範囲以外にも遮へい容器がある場所、
0:30:56	がありますけれども、
0:30:59	基本的に床圧については 60 センチを基本としておりますので 60 の場所については、十時切らずにハッチングの方で表示するという事で考えております。
0:31:11	規制庁岡です。60 以上。
0:31:16	60 油圧 60 になってるというよりは床圧が 60 以上図が担保されているって意味で、
0:31:22	そういう表示がないってことなんでしょうか。
0:31:27	宮部シタニです。
0:31:29	ご指摘の通り様。
0:31:33	規制庁から承知しましたまづは、ちょっと確認してみたいと思います。
0:31:40	あとですね、ちょっと全体を通じての話になるんですが指標の評価結果なんかの説明で、少し精査してもらいたいというふうに今までも伝えてきたようなところではあるん。
0:31:53	例えば 22 ページ目。
0:31:55	の、
0:31:56	ように、
0:31:58	選定のときに、
0:32:01	線量率計 3 ヶ所の選定のところで、ところこういう理由からは、なくしますみたいな話が、
0:32:10	この文章のメインのところ、どうやって外してるかっていうその根拠のメインのところなんだと思うんですが、
0:32:17	1.2 の 3 段落目の、また村木の
0:32:22	文章。

0:32:23	を確認いただくと、コンクリート厚が7と同程度である8及び10についてはとなっていて、
0:32:31	今日の方の数の方の見に行くと、
0:32:38	こっちが何よりもコンプライアンスが10センチ薄い。
0:32:43	んですね。
0:32:44	同程度というのは10センチ水という意味なのかもしれませんが、
0:32:49	そのあとに、
0:32:51	線源となる輸送容器をどう、どうこうするといって線源までの距離と位置関係から、
0:32:58	線量計算結果が高くなることは明らかだというふうに説明されていると、この表現が結構、今後、
0:33:06	結構いろんなところで説明、
0:33:08	されているんですが、
0:33:10	8より7の方が、
0:33:14	近いコンクリート10センチ分近くて、隣接している部屋ということしか、この資料からわからなくて輸送容器をどこに置かとか、そういう情報ってというのが、
0:33:25	ないので、
0:33:27	それが本当に正しいものなのか、逆に8の方が7より10センチ近いのであれば同じ評価をするのであれば、8の方が保守的なんじゃないかっていうふうに、
0:33:39	今与えられ、与えられた情報だけではそういうふうになってしまいますので、
0:33:43	その辺をちゃんとその線源との位置関係とか距離とか、そういうふうに論じているところは、やはりわかりやすく、その部分が、定量感を持ってわかりやすく表現されているべきだと思うんですが、その辺いかがでしょう。
0:34:01	日本原燃の新谷です。線源の配置についてはですね一応参考資料の2で、
0:34:07	つけております。全体機器配置図の方で、
0:34:13	確認いただけるかなというところで考えておりましたちょっと距離についてまだ、確かにはっきり数値としてわかりませんのでその辺はちょっと不足があるかも。
0:34:24	言えませんが、ご指摘あった輸送容器についても一応地上1階の方に、

0:34:30	そのものがあるって地上2階の方は吹き抜けになっているということでものがないということが一応確認できるかなというふうに思っておりました。以上です。
0:34:41	峰志田でございます。書いてある情報は今、新谷が言った通りなんですがとはいえ、今ご指摘のあった文章と次の表だけで書いてあることを理解しろという方がおかしい話なので、
0:34:53	書いてる根拠がわかるようにちょっと整理をして、この中でちゃんと言いたいことがちゃんご理解いただけるような文章なり、図なりをつけて構成したいと思います。以上です。
0:35:06	規制庁岡です。下に輸送容器のところはそれであるかもしれないです。はい。おっしゃる通りかと思い
0:35:14	という表現が他のところに多様な感じでたくさん出てきてまして、その部分で、線源が、
0:35:23	壁厚はこっちの方が薄いのか、そういったところが全然、
0:35:27	結構読んでいくとだんだん、それでいいのかこれでいいのかってなってしまいますのでそういうところを腐食するような根拠っていうのを少しつけていただければと思います。よろしくお願いします。
0:35:40	続きまして31ページ目にちょっと飛んでいただいて、
0:35:49	ここで現場管理し、監視だいいち等の
0:35:53	部分を少し分類しているんですが、この括弧B、
0:35:58	2、
0:35:59	当たるものっていうのがな、具体的に何なのかっていうのが等も、ダクト室、制御室等っていうふうについていて、
0:36:09	制御話等とついていて、括弧Bに当たるものが、具体的にどういう基準で選定されているのかっていう部分がちょっと不明確だったんですが、
0:36:19	これはどういうやなことを想定して、
0:36:22	ここに分類されているんでしょうか。
0:36:28	日本原燃新谷です。
0:36:32	括弧Bについてはですね、
0:36:35	廊下や制御室のように常時いるところに比べるとタッチしない、少ない部屋というところで設定していると。
0:36:45	いうところですよ。
0:36:48	規制庁岡です。この区分全体、ABC全体がそういう区分になっていてさらに、
0:36:54	ABCDを区別してCとDは下の方にちょっとあるからわかるんですが、

0:37:00	特にBは何、何でここなのかなと思ったんですが、
0:37:06	そういう、
0:37:08	部分の理由みたいなのは何かあります。
0:37:11	でしょうか。
0:37:14	日本原燃新谷です。CDは比較的なんかの特徴のある部屋で
0:37:21	Bはちょっとそういう特色がないところという感じなんです。補足です。は、
0:37:27	大変申し訳ないけど、あの時、ものを、それぞれを評価するというのではなくて、今回設工認最初から類型を整理をして、
0:37:37	その累計で考えるべき内容、
0:37:41	をまとめた上でそれに対する説明をしてくださいと。
0:37:44	言う古藤なので、
0:37:48	CDは特徴のあるところ、ピールはそうじゃないけど、
0:37:52	ていうのではなくて、
0:37:54	どういうコンセプトで設計の分類をしているのか。
0:37:59	いうことをまず説明できるようにしてから、
0:38:02	資料提示、説明をしてもらえますか。
0:38:09	具体的にはCDは取り扱う場所で、ABは直接取り扱う場所じゃなくて、人が立ち入るところとかっていうことなのかなと思って見てみたけどです。
0:38:20	そういった意味、それが正しいかどうかわかりませんが、そういう説明をしてください。
0:38:26	はい。日本原燃の安保でございます。申し訳ございません。こちらにつきましては再度その分類の方整理して、見直しの方をさせていただきます。
0:38:37	規制庁岡です。そう。
0:38:39	そういう部分がしっかり明示されているかっていうここ、この部分が一番顕著にわかる
0:38:45	フォローあったんですが他にも少し、
0:38:47	これは、こういう分け方は何でだろうっていうところも少しありますのでまた全体を精査してもらってちゃんと今コサクが見たの。
0:38:56	押ししました通り、しっかりそのコンセプトを説明いただければと思いますので、よろしく申し上げます。
0:39:03	同じく1031ページ目の輸送容器保管室に隣接する部屋の観点、少し下の方、
0:39:10	の段落で、

0:39:12	ここ評価結果と比較していったんですがG21が、39ページなんです が、2G21が最大になっているんですが、その最大に関しては何も触れ られてないんですがこれはどういう、
0:39:27	ことなんでしょうか。
0:39:35	すみません少々お待ちください。
0:40:27	日本原燃石原でございます。どうも担当者も答えられないようなのでち よっとこれが答えられないとこの先この資料を説明してもしようがない ので、この資料についてすみません一旦預らせていただいて、
0:40:39	全体見直し低角根拠も含めて、整理、説明できるようにしたいと思いま す。以上です。
0:40:46	はい、規制庁課です。そうですねちょっと目立ったところでしたので最 大値とかはしっかり説明。
0:40:54	いただかなきゃなと思っております。
0:40:58	どうでしょうか他にもそういうちょっとチェックしていただきたい というところなんかがあるんですが、
0:41:03	まずは原燃の方で確認
0:41:06	してもらおうと。
0:41:07	いうところで、
0:41:08	よろしいですか。
0:41:12	はい。日本ネシアでございます。はい。
0:41:15	こちらの方でもう一度見て、ちゃんと耐え得る資料ということでお出し をできるようにしたいと思います。以上です。
0:41:23	規制庁岡ですよろしくお願ひします。規制庁側他何かありますでしょ うか。
0:41:38	規制庁がもしないようでしたら、次の遮へい03の方お願ひします。
0:41:47	はい。日本原燃の安保でございます。
0:41:51	令和4年3月16日に提出いたしました、遮へい03R0、遮へい設計に おける計算条件及び計算モデルの設定についてご説明いたします。
0:42:04	こちらの資料につきましては、これまで、添付書類の別紙としてまとめ ていたもののうち、補足説明資料に、
0:42:13	一部移動させているというもの。それと、前回のコメントのうち、
0:42:19	モデル設定等に関わる部分についてはこちらの補足説明資料にまとめ たというものになってございます。
0:42:29	藤。
0:42:31	内容といたしましては
0:42:34	これまでにご説明したものにあとは、

0:42:38	コメント内容反映したものというふうになってございます。
0:42:43	こちら、説明以上となります。
0:42:46	はい。規制庁岡です。ゼロさんの方は、新規にということで、まず位置付けですが、ここに
0:42:53	今まで添付書類の方でコメント対応等で、何か補足とかつけてきたものを全部こちらに移して、添付の方はまた少し、
0:43:03	レベル感を合わせたってというそういう位置付けなんでしょうか。
0:43:08	はい。日本原燃の安保でございますその通りでございます。
0:43:11	はい、規制庁から承知しました。ちょっと幾つか確認させていただきたいんですが、まず4ページ目の輸送容器の宣言条件のところ、
0:43:22	対応する条文等をちゃんと記載してくださいというようなコメントをした覚えがあるんですが、
0:43:30	今回まず1行目、B型輸送物というふうにB型に限定してるというか、B型というふうにしてはいるんですが、
0:43:39	何でBM型じゃなくてB型にしたんでしょうか。
0:43:54	日本原燃の安保でございます。はい。
0:43:57	重くというそういう、輸送容器につけたBMの方になりますので、こちらの方、すいません、見直しいたします。
0:44:05	失礼超過です。B型っていう部分も当然
0:44:09	この間違いではないと思ってるんですが、現現像現行のその下にある第運搬規則だとBエムビルとちゃんと
0:44:17	分かれて明記されているので、BMの方がわかりやすいかなと思ったの、意図を確認したかったコメントなんですが、特に意図等はなく、
0:44:27	ないんであればDMの方がわかりやすいかなと思いますんで、
0:44:31	よろしくお願ひします。同じように外運搬規則の条文を書いてもらってるんですが、
0:44:38	これちょっと細かい話かもしれないんですが、
0:44:41	条文を書くときはちゃんと所なんかの第何条の欄5の、
0:44:48	ここに言葉で要求されているというふうに、
0:44:52	各者であって今の書きぶりだと。
0:44:56	その7号の表面、
0:44:58	表面評価表面の、
0:45:02	伊勢線量当量率等、8号の1メートル離れた位置での線量当量率っていうのは、及びで全部くっつけてしまっているんで、意味が変わってしまっているんですよ。こういう書き方は誤解を招くので、

0:45:17	できるだけその第何号、第何条対岸 5 荷物のこういう要求に基づく、或いはこうこうこういう要求に基づくというふうに、
0:45:26	条文単位で書いていただきたいんですが、意図とか伝わりましたでしょ。
0:45:36	はい。通知いたしました。はい。
0:45:40	項番号まで、きちんと、
0:45:43	整理したといいますか、丁寧に確認いたします。
0:45:47	はい。規制庁岡ですよろしく申し上げます。あと、同じく 4 ページ目の輸送容器の 2 段落目、ここモデルのことを少し説明してもらってんですが、
0:45:57	計算体系っていう時にはこのこの後のモデルの話もありますが、どういう計算体系なのかっていうところで、1 次元旧体系でやったんだったらその、
0:46:09	1 次元球体系であるっていうことをちゃんと、
0:46:12	示してもらいたいんですが、
0:46:15	全体を通じて添付書類とかの評価書の方も全体を通じて、そのときの計算体系は、何次元の、有限なり無限なりの、
0:46:25	旧なり円筒なりの体系で計算しましたということをちゃんと、
0:46:30	明言していただきたいと思いますがよろしいですか。
0:46:34	矢部シンタニで生じました。
0:46:37	社長からです。この輸送容器の部分なんですが、
0:46:42	輸送容器と体積が等価になるようにというのところもちょっとわからなくてですね、何が、
0:46:49	何をどういうふうにモデリングしたのかっていうのはやっぱりもう少し丁寧に、
0:46:53	わかるように説明してもらいたい
0:46:56	この後についているような図をここにも 1 次元球体系にモデル化する前と後で、こういうところをモデル化しましたっていうことをわかるように、
0:47:07	説明いただきたいんですが、まず等をつけて、
0:47:10	いただきたいな、どうでしたが、
0:47:15	稲毛シンタニです。概要図にどのようなものをつけて、どういう形で、この形状にしたかわかるようにしたいと思います。
0:47:24	すいませんコサクです。
0:47:27	ヒアリングなの資料のチェックをしているということではなくて、内容確認なんで、ちょっと私もよくわからないから、

0:47:36	お聞きするんですけど。
0:47:42	例えば8ページ見ると、
0:47:45	実体系として左側に、
0:47:49	平面図立面図があり、
0:47:52	それをモデル化するというので右側に書きということのようなんですけど、
0:47:57	右側の図を見ると、今の1次元旧体系ではなく、
0:48:02	で、
0:48:04	上の寸法書いてるところでいうと $\pi 9.06$ と書いてあって、
0:48:09	どうも二次元円筒形のようにも見えると。
0:48:14	ということなんですけど。
0:48:17	何をやられてるんですかね。
0:48:30	ちなみに、9ページの方は、
0:48:34	一次元旧型に見える。
0:48:39	いうところでいいですけど、
0:48:46	宮部シタニです。すいませんおっしゃる通りで8ページの方は、
0:48:52	二次元の円筒モデルになっておりまして、
0:48:56	円筒形状にした線源の実際の
0:49:01	配置寸法等を、左側の概要図の方で示して、
0:49:06	おります。で、その黄色で示している部分。
0:49:10	と、体積が等価になるように、円筒形状を作成しているということを説明するために、
0:49:17	つけております。
0:49:21	はい。補足です。その辺りをちゃんと説明してくださいっていうのが、ちゃんと書いといてくださいねというのがオオオカの話だと思いますけども。
0:49:31	その際ですね、これ、何でこれでいいのってのがちょっとよくわからなくて、
0:49:37	今言われたこの寸法でいうと、左側の図の、この一つの区画分でモデル化してるように見えるんですけど、
0:49:46	隣の区画にもう、
0:49:48	あって、それはモデル化しないでもう、
0:49:54	大丈夫なようにな。
0:49:57	てるのは何でなんですか。

0:50:01	土産ね身体ですちょっと説明が不足してて申し訳ありません。この区画三つ分すべてを一つの線源としてモデル化しております、実態としてはこの町井
0:50:14	へとずつで、ちょっと隙間があいているんですけどもモデル化する際はここの隙間を詰めて、
0:50:20	他と同じピッチで、並んでいるという条件のもと、設定しております。
0:50:32	すいませんコサクです。よくわからないんですけど、これ
0:50:39	左の図わあ、
0:50:41	す。
0:50:43	縦横がほぼ同列側に正方形的に並べてあるのが、
0:50:49	右側から二つあって少し長方形になってる企画が一つあってと。
0:50:55	いうことになって絵を書いていますけど、
0:50:59	これを全部集約させて、
0:51:02	一つの線源にしたって言われてるんですか。
0:51:07	稲毛シンタニですその通りです。
0:51:16	等々、
0:51:18	言われると、
0:51:21	ことで本当にこの寸法になるのかよくわからないんで、
0:51:31	そこら辺、整理をして説明してもらえる。
0:51:38	規制庁かです。関連してなんですが、結局その案件 1.05 が本当にその通行になるのかってということについて輸送容器の方、
0:51:49	もう少しちゃんと具体的に寸法を変えてもらいたいっていう意図なんです、
0:51:57	その辺の情報をちゃんとわかるように、もっと整理してもらいたいということ、お願いします。
0:52:05	矢内シンタニです。輸送容器の方については
0:52:08	寸法、1.0 本図、繋がるもの、ご提示いたします。
0:52:15	乳井西原でございます。はい。ちょっとモデルにするときの妥当性をちゃんと説明しなきゃいけないというのが本来の目的ですので、元になってる線源側の、その形状であったりというのを、
0:52:28	ちょっと示した上で、それを右側の形にすることで、ちゃんとモデル化できていると、いうこと考え方も含めて全体セットで示せるようにし、
0:52:39	整理をし直したいと思います。以上です。
0:52:45	はい。規制庁岡ですよろしく申し上げます。
0:52:49	5 ページ目の方で、

0:52:52	今回新保あたりの方も先ほどの優良比較をして、BWR売買ラインが一番ブルー量が多いですよというふうに、
0:53:03	整理されているんですが、5ページ目なんですね。
0:53:15	これ、A型とB型で何番ないんで、チャンネル分だけちょっと本数が変わってきてで、結局方が一番多かったってということなんですこれ、文中ではない場合Nineと。
0:53:29	いうふうにしていて、テンプの方とかでも説明するところでは、結局BWRのない場合ない方が一番大きいですよというふうに整理されているんですがこれ、形まで同定しなくていい。
0:53:42	んでしょうか使われ方とかとの関係もありまして、その
0:53:47	書類でこういうことを表現したくて、重量はこう評価したところない場合の方を何社いっぱいでしたが、
0:53:57	こういう使われ方なのでない場合ない形にしますというようなそういうそのロジカルな説明をお願いしたいんですがいかがでしょう。
0:54:14	はい。日本原燃の安保でございます。
0:54:18	等、
0:54:19	おっしゃられているのは文中では
0:54:23	ない分野員方としか書いてないんだけどそれと、
0:54:27	実際にはない場合の方であるというところ、そこら辺の関係性がきちんと説明されてないのでそこをきちんと説明記載するようにということうでしょうか。
0:54:40	はい。規制庁岡です。で、でもあってかつ使われ方の方で、添付書類等でその貯蔵設備の代表性という、
0:54:50	線量の代表性という観点で、
0:54:53	ない場合ない形であるというふうに、
0:54:57	書いてあると思うんですが、そんな時にプルーム、重量っていうのは、
0:55:04	こういう具体的な燃料スペックから持ってきているんですけど。
0:55:14	日本へのシタニです。BWRの方については、エスペックの方から持ってきておましてBWRの方については、
0:55:23	最大貯蔵能力の方から割り戻した形で設定しております。
0:55:29	規制庁梶ですな。そういうちょっと、
0:55:32	少し整備されてないのかなと思われるようなところがあってかつ、この情報をその設定根拠に使うのであれば、そういう使われ方と設定根拠との関係っていうのをもう少し明確に整理し、
0:55:46	してくださいっていう意図で、コメントをしています。いかがでしょうか。

0:55:55	日本原燃の郷でございますはい。ちょっと整理してきた方。
0:56:00	検討いたします。
0:56:02	はい、杉岡ですよろしく申し上げますと、先ほどもちょっと話題に挙げたモデルの方なんですけど、
0:56:09	まずちょっと、
0:56:11	外行図の方先ほどもう少し根拠が、寸法的な根拠が薄いというところもあったんですが、あと計算仮称。
0:56:20	評価点ですね、評価点の考え方とか、
0:56:25	もう概要図の方で、こういうところに作業員がいるから、ここが評価の計算箇所になるんですみたいな、この評価点との関係っていうのも、
0:56:36	わかるように明確化してもらえるといいかなと思います。
0:56:40	芳賀です。
0:56:44	言えねシンタニでしようしました。
0:56:47	はい、規制庁をかけるし、あとその評価点に関して、特に二次元有限と体型とか、
0:56:56	あと、永戸です。
0:56:59	例えば19ページの辺りとかだと、
0:57:05	その領域の最大値をとるとか、壁面の最大値をとるとか、壁面の積分値をするっていうのがあったんかなかった。
0:57:19	評価点をどういうふうに、
0:57:25	どういうふうに評価してるのかっていう考え方の妥当性っていうのが、やっぱりちょっと今まだ見えてきてなくてですね。
0:57:32	特にこの19ページのところ、
0:57:36	下のアンダーラインのところモデル形状の都合上、壁から離れた方が高く、
0:57:42	モデル系
0:57:43	道場っていうのは、具体的
0:57:46	なのかっていうのを明確化してもらいたいっていうのとか。
0:57:50	その線量率をどう、どこでどう評価するっていうその部分の妥当性、その最大値をとるっていうことの妥当性とか、積算値をとることの妥当性とかそういったところも、ちゃんとフィールドでわかるように、
0:58:04	説明いただきたいんですが。
0:58:08	屋根シンタニです。
0:58:11	評価点については基本、
0:58:16	この点ごとの値になりますので積算値をとることはないですけども、この場所が正しいというか適切であると。

0:58:24	いうふうな内容の補足ですとかについては対応したいと思います。
0:58:30	はい。成長化です。その辺明確化しないとな、なかなかまだちょっとこれでいいのかなというところがありますので、
0:58:38	先ほどの先方等の下話も含め、よろしくお願いします。
0:58:43	私からは、03の資料に関しては以上なんですが、
0:58:48	ありますでしょうか。
0:58:49	コサクです。今の19ページの話は、
0:58:54	床面よりも下の側面の方が薄いので、直接線はあれなんですけど、
0:59:03	1回反射して入ってくるというようなもので、
0:59:08	下の方が厳しくなるってことを言われてるんですか。
0:59:14	日本原燃新谷です。こちらのモデルについては南北の円筒モデルになっておまして、
0:59:22	ごめんなさい、上下じゃなくてあれ平面図なんですね。
0:59:27	そうそうそうですね。
0:59:30	そうすると図でいう、上側の壁よりも、
0:59:36	北側の壁の方が薄いので、
0:59:40	ということ。
0:59:42	ですか。
0:59:44	ええ。
0:59:46	そうですね1000線源の直下にある部分については、厚さが厚いので、こちらからの寄与よりも、1回反射して、
0:59:59	東側の方から入ってくる放射線の影響の方が大きいということも踏まえて、評価点を設定しているという形になっております。
1:00:07	はい。補足です。そうだろうなと思うとですね。
1:00:10	結局計算結果を見ないと、どこが最大かもわからなければ、どこが最大かもわからないし、それ、それでちょっとその最大値がどうかもわからないと。
1:00:24	ということなので、どういうふうに設工認で出していただくかを、もうちょっと悩ましいなと思って、
1:00:35	ちょっとほかの例とかも見てもらえばいいんですけど、そういう時はもうコンター図をつけてしまって最大1幾つですと。
1:00:41	そのものを話をスルーほうが早いんじゃないかなと思うんですけどそのあたり何か調査されてますか。
1:00:53	日本原燃新谷です。出力の際には当然評価点にあたる部屋の範囲とかで、そのあたりについては調査しておりますのでちょっとコンター図をつけるかどうかも含めてちょっと対応を検討したいと思います。

1:01:15	すいません、長田ですちょっと別の解析とかも頭に入れながらカウンター図と言ってしまいましたけど、そういうのをあらわせるような解析でもないかもしれないので、
1:01:25	解析結果としてどういう分布になってるのか。
1:01:30	最大値をちゃんと拾ってるのかっていうのが説明できるようにという、
1:01:48	規制庁かです。他規制庁側から特にないようであれば、シミズさん、お返しします。
1:01:57	清長市民です。それでは本日のヒアリングを通して原燃側から、
1:02:03	遠地のヒアリングでのコメントを踏まえた資料の修正方針等、説明できればスケジュールについて簡単にご説明お願いします。
1:02:16	はい。
1:02:17	日本原燃の安保でございます。
1:02:20	遮へいの 01 についてですけれども、
1:02:25	オーサーの考え方については仕様表との関係では整理をした上でこちらの週に配布すべきところは反映していくというところ。
1:02:37	あと、
1:02:40	ダクト等の貫通部の変更点がわからないというところで、
1:02:46	分割申請を考慮してどのように、
1:02:50	そういったところを示していくかというのは検討していくというところ。
1:02:55	です。はい。
1:02:56	あと、
1:02:58	全体的に動きですとか、図、
1:03:04	の見直し精査を行っていくというところが、社員の藤江口のコメントと認識してございます。
1:03:12	遮へいの 02。
1:03:15	遮へいの 02 につきましてですけれども、
1:03:18	こちら、ちょっと全体的に説明の内容として、
1:03:25	分類とか類型化が十分できていないというところがございますのでその整理をした上で法制の方、見直しをするということ。
1:03:34	それとあと説明につきましても、
1:03:39	最大一位になっているものに対しての説明がなかったりというところがございましたので
1:03:46	そういったところも含めて全体的に精査してしっかり説明できるように見直しをするということになります。
1:03:54	同社への 03 につきまして、

1:03:58	計算体系について、何時間どういう形状でモデル化してるのかといったような説明が不足してるというところでそういったところを明確にしていくというところ。
1:04:10	あと、概略融通等をつけておりますけれども、それ、
1:04:16	をもとにモデル化しているというところがきちんと追えるように必要な寸法等の情報を追加していくと。
1:04:24	いうところ。
1:04:27	はい。あと評価点の考え方。
1:04:30	あと、いや、まだ記載が、注釈等で足りてないところもございますのでそういったところを全体的には精査していくというところコメントとして認識をしてございます。
1:04:44	成長スケジュールに、
1:04:46	お願いし、
1:04:47	はい。そっか。
1:04:49	はい。
1:04:50	あとスケジュールについてですけれども、ちょっと左辺の 02、
1:04:55	特に全体的な構成と見直しが必要になってきますので、
1:05:01	一度整理をした上で別途ご連絡したいと思います。
1:05:07	すいませんコサクです。
1:05:10	先ほどの振り返りの中で貫通部の話が出てきたんですけど、
1:05:16	貫通部わあ、遮へいの補強等をされてるっていうことだと思う、五つされない場合は、
1:05:26	計算でどうするかっていうことになったりするんですけどそのあたりって、
1:05:31	今日の資料ではあまり見うけられなかったような気もするんですけど、全体としてどういう扱いになってますか。
1:05:46	あ、すいません進藤お待ちください。
1:06:38	日本原燃石田でございます。
1:06:41	今後、行ってきた内容なので、遮へい側の要求として貫通部に対する高さ位置の制限との位置関係であったり制限を直接見通せないようにするとかっていう、
1:06:55	設計の要求については、遮へい側から当然出した上で、設備側でそれを受け取って展開をして、具体的な説明出す時の要求事項がちゃんと展開されていることをお示しをしようということで考えてました。

1:07:08	具体的に何か遮へいで要求があってその説明が補強するといったようなことは、基本的には具体的には展開はしてなかったので、そこも含めてちょっともう一度整理をして、確認をしたいと思います。以上です。
1:07:24	はい。補足です。
1:07:26	その設計方針の一つだと思っていてですね。
1:07:31	そういう観点では、基本設計方針本文としても、何らか触れる必要があると思いますし、添付書類では具体的に、
1:07:43	どう、設計側から、設備側に要件を提示するのかと。
1:07:50	いうことを明確にし、それで、耐震計算安全すいません。遮へい計算とかが成り立つというところにつなげる説明が必要だと思ってます。
1:08:02	特にこれ建屋でもありますしそういったところは第1回設工認でしっかりと説明し切ると。
1:08:09	いうことでそれによって個々の設備の設計ができる壁に穴があげられると。
1:08:16	というようなことになっていくんだと思ってます。壁に穴をっていう意味では、貫通部だけじゃなくて、他の開口部も含めてということだと思いますけど、
1:08:27	そういったところをはっきりさせるっていうのが大事で、そういう思想がですね、耐震側で
1:08:35	概念設計から基本設計詳細設計といったところとも同じ概念だと思ってます。
1:08:43	それを設工認であらわせるために基本設計方針という枠を作って今回話をしているのと。
1:08:49	ということですので
1:08:52	こういう話を振られた時にぴんときてないという担当がいるのは非常に困るので、しっかりと整理をした上でまた対応いただければと思います。よろしくお願いします。
1:09:03	はい。日本原燃石田でございます承知いたしましたはい。基本設計を崩し含めて、どういったことを今回の遮へいとしての要求事項としてあげるのか。
1:09:14	あとそれを、具体の設備側の設計をボタンタッチするとか、それを前提にしてどう設計していくのかっていう一連の流れは当然あった上での、
1:09:25	基本設計方針であり、事務処理の今回の建屋の説明だと思しますのでそういったところをちゃんと段階的に紐解いて整理をしてつなげていくということを、まずはちゃんと頭で考えて、具現化していくということができるようになりたいと思います。以上です。

1:09:48	規制庁志水です。そこは伊藤全体を通して規制庁側から何かございますでしょうか。
1:09:57	原燃側から全体を通して何かございますでしょうか。
1:10:04	日本原燃六ヶ所、こちらは特にございません。
1:10:08	規制庁清水です。ありがとうございます。それでは本日のヒアリングを終了しますので、録音を停止します。